

図 書 館 利 用 者 と 館 長 の 懇 談 会

- 1 日時 平成21年12月13日(日) 午後2時～4時
- 2 場所 関町図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者11名
区職員9名(光が丘図書館長・石神井図書館長・南大泉図書館長・関町図書館長
計画調整係長・事業係長・子供サービス係長・障害者サービス係長
関町図書館職員)
- 4 次第 (1) 光が丘図書館長あいさつ
(2) 職員紹介
(3) 図書館概要説明(石神井図書館長・南大泉図書館長・関町図書館長)
(4) 懇談
＜配布物＞
(1) 懇談会次第
(2) 次号図書館だより部分早刷り版「石神井図書館が一部開館」
(3) 南大泉図書館「人形劇」開催チラシ

図書館利用者と館長との懇談会 要録

1 光が丘図書館長あいさつ

このような会を昨年度からはじめて8回目になります。練馬区の図書館は1館1館が個性を持ち運営してきています。各館の運営に意見を頂き、実際の運営を良くして行きたいというのが趣旨でございます。各館の個性ということで、必ずしも統一したものとなっていません。それぞれの地域特性を生かしながら、ご意見も伺いながら私どももつづさに状況をみさせていただき今後に活かしていきたいと思えます。

忌憚のないご意見をうかがえたらと思っております。貴重なお時間を割いていただき、ありがとうございます。最後までお付き合いください。よろしくお願い致します。

2 職員紹介

石神井図書館長、南大泉図書館長、計画調整係長、事業係長
子供サービス係長、障害者サービス係長、関町図書館職員

3 図書館概要説明

【石神井図書館】

大規模改修工事中ですが、11月6日から一部開館しています。22年3月2日全面オープン予定です。(図書館だより1月号早刷りを資料として配布して工事内容等を説明。)

3階部分を削り(減築)耐震補強し、別棟を増築しました。入口の段差解消、エレベーター、だれでもトイレ、授乳コーナーの設置等、施設の充実を図っています。屋根、外壁は緑化し、いつも緑に囲まれているようにしました。また、書架間隔を広くしたり、児童催しスペースには床暖房設備を設けたほか、約8万冊収納可能な集密閉架書架を新設するなど機能も充実します。

延床面積250㎡増、建設面積は700㎡増えます。お手元の資料では、74,300冊増としていますが、実際には、10万冊位増やせるのではないかと思います。石神井図書館だけでなく12館全体の図書の充実の受け皿として集密書架を活かせればと思います。3月2日全面オープン予定です。ぜひ、お出かけください。

【南大泉図書館】

1 階が図書館、2 階が青少年館となっている建物で 16 年経過しています。4 年前には、水害にもありました。現在は、1 枚 10 和ほどの止水盤をほぼ毎日設置し、天気予報に注意しています。

2 階が青少年館ということもあり、小中学生の利用が多いです。青少年コーナーに力を入れています。備え付けの用紙で意見や本の感想を投稿していただき、館内に掲示するなどして、利用者同士の交流や図書館員と利用者の交流を活発に行っています。

新規事業として乳児向けに「赤ちゃんあつまれおはなし会」を南大泉図書館ブックスタートの会ボランティアの皆さんに協力していただき、第 4 金曜に午前 10 時半から 0～2 歳児を対象に実施しています。読み聞かせ、わらべうた、手あそびを行い、終了後には、乳児へのお褒めの本の紹介や参加者同士の交流時間も設けています。

12 月 20 日のお楽しみ会に始めて「人形劇」を開催することになりました。ご案内のチラシも配布させていただいていますので、ご参加ください。

【関町泉図書館】

昭和 57 年 9 月に開館しました。建設懇談会から、気軽に利用できるコミュニケーションの場を設置して欲しいという意見があり、2 階に談話コーナーを設けています。小中学生のグループ、主婦の方たちの集まり、打合せ、ご自身のパソコンを使用される方など、幅広いご利用をいただいています。

昭和 59 年に隣の石神井西中学校から、布の絵本を 10 点ほど寄贈を受けたのを起点に 60 年からは布の絵本の製作講習会を開いています。今も隔年で開いています。講習会で作成された布の絵本は貸出ししており、区内 920 点中 240 点を関町が所蔵しています。全国的にも有名で 3 月には、東大和市、12 月にも北海道の石狩市民図書館のボランティアの方が視察にみえました。

施設面では、1 階の雑誌・青少年・CD コーナーの吹き抜け部分が暗いと利用者の方からご要望がありました。11 月に照明改修工事をして明るくなりました。

4 懇談

図書館：各図書館ごとにご意見、ご質問を頂きたいと思います。

【南大泉図書館について】

利用者：南大泉の水害の実害は、どの位の金額だったのでしょうか。

図書館：今日は資料を持参していないので後で調べてお知らせします。

利用者：止水盤を設置する前に場所が悪いのではないのでしょうか。都市基盤整備ができていないところという事ではないですか。

図書館：あの時は夜間、急に 1 時間 100 ミリ以上の雨が降り、排水溝の水が処理できずに水が入ったと聞いています。今は、念のために止水盤を設置しています。

利用者：他の館では、120 ミリでも問題ないということは場所による作り方が悪かったという事ですね。

利用者：入口がすり鉢状になっているが、自転車置き場側から入る構造にはできなかったのでしょうか。

利用者：辺りな所で交通の便（アクセス）もよくないですが利用はどうですか。開館当時の人たちの利用はどうですか。

図書館：新しい方の利用もあり、1 日 1,000 人きてくださる日もあります。

利用者：水害があった時、職員の間で「もう少し降ったらあぶない」という事が意見として挙がらなかったのですか。意見の吸い上げがうまくいっていないのではないのでしょうか。

図書館：おっしゃるとおり、組織対応を考えていかなければならないと思います。意見を頂いた事も今後、抜本的な建替え、改修時や移転時等は水圧にも耐えられるよう、組織の対応をしていかな

ければならないと思います。

皆さんには、図書館としても教育委員会としても大変ご心配ご迷惑をおかけして、申し訳なかったと思います。

図書館としても今できる事は何かを考え、運営の中では止水盤を取り入れています。止水盤は水圧にも一定程度耐え、集中的に降った時、浸水は防げると思います。排水の方も土木関係の方で直しました。技術面でも大丈夫という事を聞いています。今後、より安全を考えてやっていきたいと思います。ご心配ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

利用者：自転車置き場から下りる階段が急すぎて怖いです。すべり台をつけて欲しいくらいです。木が一本と石のベンチがありますが使いづらく、「設計者の遊び」としか思えません。税金の無駄使いです。奥には老人がいっぱいいて、すわる場所もないです。これからつくる時は考慮していただきたいです。

利用者：全国の図書館で水害を考慮している館はあるのでしょうか。

図書館：全国で初めてということです。

図書館：区職員と委託職員のみの避難訓練はしていますが、利用者を含めて避難、救急、消火訓練をしたいと思っていますが、利用者にはご迷惑でしょうか。この機会にご意見を伺いたいのですが。

利用者：利用者に断ってやるのは、いい事だと思います。

利用者：どの位の時間なのでしょう。

図書館：10分程度です。

利用者：南大泉の場合は避難口が1か所ですか。

図書館：避難口は3か所あります。

利用者：年1回なら、事前に知らせてやればいいと思います。自分たちだけでやるのと利用者がいるのでは、違うのではないのでしょうか。

図書館：公の施設の中で、図書館は利用者が多い施設でもあり、他の館も含めて検討します。

利用者：毎年やるのはどうかと思いますが、どのような問題点があり、避難に何分かかるのかなどの確認をし、避難計画を立てるための指標としてやるのは良いと思います。

利用者：外に出れば良いではなく、南大泉の場合、急階段は考えた方が良くと思います。スロープが脇にまわっていて見通しが悪いです。

図書館：前にはありませんでしたが、水害に合い、水害避けとしてできました。

利用者：玄関を入ったところも殺風景で暗い感じですが、明るくして絵本や花を飾るなど、どうにかできないのでしょうか。2階に上がる階段が見えません。

図書館：この間は電気が切れていましたが、直したので明るくなりました。

図書館：施設改修の役割は光が丘なので、しかと受け止めました。是非、予算を付けて頂けるよう財政サイドにお願いをする機会をもっていきます。

現在は、耐震補強対策に優先的に予算がついています。階段に付いては今伺った視点までは至りませんでした。5～6段のことですが、1段でも躓けば大怪我します。今できる事は、注意を喚起する張り紙程度ですが、認識を深めた上で改修の折に組織としてあげていきます。

利用者：足の悪い人も多いです。外側にしか手すりがないが真ん中に手すりを付けるだけでも違うと思います。お金もそんなにかからないのではないのでしょうか。

利用者：スロープがあるのがわかりません。

図書館：スロープの表示を目立つようにいたします。

利用者：避難訓練ですが、一番最初にするのは、階段でしょう。階段を石ではなく、別の素材を考えた方が良くと思います。非常口の方のスロープのタイルの壁もなくして、見通しを良くした方が良くと思います。地震で倒れてくると使えなくなります。

図書館：スタッフには、身体の不自由な方には、常に見ているように指示しています。

利用者：建設懇に関わっていました。南大泉図書館は地域の方から待ち望まれた館です。開館まつりの時は、あのスペースが生きていました。地域の方の力で、あのスペースを活かす方策があるはずです。建設懇では、大雨のことは考えていませんでした。50 ミリしかないのは、都の責任だと思います。地形のことはもっと考慮すべきでした。建設懇の時、地形の話は出ませんでした。

図書館：青少年が集まり、近所に迷惑がかかったこともありましたが、今は静かです。

図書館：違法駐車が続きます。何か良い方法はないでしょうか。館内呼出しも平日は減りましたが、土日祝は4～5回あります。うるさくないでしょうか。

利用者：他に有効な対策がないならしかたがないと思います。

利用者：「駐車しないでください」とかいっぱい貼紙を書いたらどうですか。

図書館：いっぱい書いています。

利用者：モラルの問題だと思います。

利用者：交通整理員をおいて集中的にやってもらえばよいのではないのでしょうか。

図書館：交通整理員は区域が決まっているようです。図書館は区域ではないそうです。

利用者：質問ですが、呼出をしてすんなりいくのでしょうか。

図書館：文句をいわれながらも移動してくれます。

利用者：関町も連絡制にして空いているときは、有効に使わせてくれないのでしょうか。

図書館：駐車スペースは2～3台ありますが、障害者用、足の不自由な方用です。

図書館：中途半端にあると車で行けるという事になり、集中的に車でくる人が増えて収集がつかなくなります。かえて、近隣の方に迷惑がかかってしまいます。

図書館：図書館は住宅街にある館が多いです。12館全体として考えていくのでご意見を聞かせてください。今のご意見は、調整の範囲であると思いますので、参考にさせていただきます。

図書館：館内表示について子どもの利用が多いので、ふりがな付き表示としたが、読みにくくはないでしょうか。

利用者：大人向きと子ども向きの本で区別がつきにくいものは、ふった方がよいと思いますが完全に大人向きのものは、ふらなくてもよいと思います。

図書館：子どもと共通に使うところには、ふりがな付きにしています。

利用者：ふりがなのみで読みにくいことはないのではないのでしょうか。

利用者：外国人には、ふりがながふってあると分かり易いです。

利用者：どのような動機でふりがなをつけたのですか。その効果はどのようなのでしょうか。

利用者：「ひらがな」だけでは、読みにくいです。

利用者：読書人にとっては、雰囲気・気分もあります。初めから付けられると、こども向きの図書館かなと思うのでそれをやられると考える場合があります。

【石神井図書館について】

利用者：利用者に対する説明会はしたのですか。そこで意見・要望が十分出たのではないのでしょうか。

図書館：説明会はしました。利用者の方々には日々教えていただいています。一例ですが、ブックポストの位置を変えたとき、案内表示の適切な位置について教えていただきました。スタッフも含め常に敏感に対応できるよう、心がけているところです。

利用者：入口右手に自動販売機があるが、館内で自由に飲食してよいと思ってしまうのではないのでしょうか。また、あんな大きなものが、入口に必要ですか。外でもよいのではないのでしょうか。自動販売機をあそこに置いたら、もっと端末を増やして、高齢者や若者にも情報を流して欲しい

です。端末の数が重要になっています。今、情報はインターネットに移行しています。端末はお金をかけないで増やす方法もあるので探っていただきたいです。

図書館：ご意見よくわかりました。

利用者：自販機のために給水機をなくしていないですか。

図書館：今はまだ仮の状況なので置いていませんが、給水機は設置する予定です。

利用者：一部開館しているとのことですが、資料は見るのでしょうか。

図書館：15万冊ほどを別の場所に預けています。

利用者：預けている資料はレファレンスで検索できる中に入っているのですか。

図書館：入っていません。

利用者：レファレンスを受けましたが、区内にはないと言われた資料が、他の図書館に行ってみると出てくるのでレファレンスを疑ってしまいます。検索される物とされない物とを一覧に出すと111冊あります。ものすごく少ないです。図書館ができる45年以前の本はどうしているのですか。古本屋で買ってきて古典的なものだけ揃えているのでしょうか。どのような選書の仕方をしているのですか。古典といわれる物は揃えたほうが良いと思います。古典の中の知恵にふれるのが私にとって至福の時間です。国会図書館でもない本がありますが、必要なものは入れて欲しいです。石神井の74,300冊の中にいれて、12館の中でもそういう見直しも検討していただきたいです。

図書館：ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。少なくとも区内所蔵資料の状況について、お話できなかった事は深く反省すべき事と思っています。仕事のすすめ方、仕組みの中で今後このような事がないように少しでも皆様のご要望に近づくよう、事例として研究させて頂きたいと思っています。

利用者：区内の本を検索できないような仕組みになっているのですか。聞いた人の問題なのでしょうか。そうでなければ、極めて根本的な問題です。

図書館：基本的には、全書誌全蔵書コンピュータの中にいれています。タイトル、著者、かけ合わせて出版社からでも検索が可能です。「こんなような著者だったかな」といった形でお聞きになった場合、受ける側の経験等で検索しきれなかったという場合も考えられます。システム的には全ての書誌全部いれています。石神井に工事のために倉庫にしまっている本もデータは残っています。

利用者：少なくとも検索できない事にはなっていないということですね。尋ねられた方のスキルの問題が考えられるという事なののでしょうか。または、たまたまコンピュータの機嫌が悪かったのですか。

図書館：検索できない事にはなっていません。

利用者：誰でも1~2回経験があります。

利用者：どういことをやって何が出てきたのか、事実を確認しないと何も始まらないという事を言いたいのです。

図書館：スキルの問題なのか後ほど詳しく教えてください。後日調査します。

利用者：検索しても出てこないのは、業者データをそのまま使っているからだと思います。図書館の中で常に同じような形に職員がデータを直していく必要があると思います。検索しても出てこないのは、そのせいだと考えています。

図書館：典拠の事だと思います。新字体、旧字体、全てとは言えませんが、見つかり次第直しています。データをそのまま使っている訳ではございません。

利用者：使っている端末は同じです。杉並でも同じような事がありました。何なのでしょう。

図書館：後ほど事実について追わせて頂き、対処していきたいと思っています。

図書館：この問題については、後で調査するという事にさせて頂きたいと思っています。

【関町図書館について】

- 利用者：1 階参考調査コーナーは調べ物、新聞閲覧者専用席、と貼紙がしてあります。2 階談話コーナーはおしゃべりも可となっているので集中して勉強ができません。石神井図書館では、昔、学習コーナーがありました。参考調査コーナーで受験勉強もできるようにしてほしいです。空いている時は使わせてもらえるよう柔軟な対応をしていただきたいと思います。
- 図書館：基本的には、貼紙のとおりです。しかし、空いていれば 1 階を利用して頂いても結構ですが、混んできたら、2 階へ移動して頂く場合もある事をご承知おきください。
- 利用者：図書館というのは、受験勉強は家でやるべきでそれを認めていないのでしょうか。時代の流れで図書館が変化しているのかどうかを聞きたいです。受験勉強もさせてもらえないのでしょうか。「図書館とは、本を利用していない人はだめだよ」ということですか。
- 図書館：参考調査コーナーは図書館資料をみて調べ物をするところです。曜日、時間によって混みあう事がありますが、空いているときは、使っていただいて結構です。
- 利用者：基本的にはいけないという事ですか。
- 図書館：どちらかといえば、お断りしたいです。
- 利用者：私個人的には、図書館は談話する所ではないと思います。談話は外でもできます。図書館は本で調べたり、勉強するという感覚があります。談話コーナーでは集中できないので、できれば勉強できるスペースを設けて欲しいです。
- 図書館：スペースの問題もあり、学習室を設ける事はできません。
- 利用者：談話コーナーがある事が不思議です。図書館は談話する所ではありません。
- 図書館：隣が学校でもあり、建設懇談会から意見が出てできたコーナーです。
- 利用者：談話コーナーには、数人で本を借りるときなど便利な点があります。私は、視聴覚室を予約して借りることもある。
- 利用者：視聴覚室を予約がないとき開放すると良いと思います。
- 利用者：試験時期の学生に勉強部屋として開放するのも良いと思います。1 階は混んでいるのに 2 階は閑散としている。エレベーターのところも荷物置きになっているのは何故ですか。あそこも談話するように使えるようにならないのですか。外国では、静粛ゾーンとおしゃべりゾーンを分けています。思い付きですが、2 階談話コーナーを透明スクリーンなどで 2 分割して利用することも良いと思います。静かに自分のことをしたい時に使えます。ただし、外からは丸見えにして置くのです。
- 利用者：中の改装に対して各々の図書館の自由はあるのですか。
- 図書館：経費がかからない模様替え程度ならば可能です。検討させていただきます。
- 図書館：今後の事もあるので今の段階で申し上げられる範囲で申し上げたいと思います。1 2 館は特徴を持って運営しています。施設の使い方は統一していくべき点については統一していきます。地域の利用の便を図るという意味で各館長は日々の運営の中に委ねられているという認識があります。図書館施設をどういう使い方をするかについては、一定の制約が必要なのかという議論もあります。この場では貴重なご意見を頂いたので、図書館内だけでなく、議会の了承が必要な場合も出て来る事もありますが、今後、広く区民の方々の区の施設利用の拡大に繋がるように他の利用者の事も含めて考えさせていただきたいと思います。
- 利用者：この位の問題は各図書館の裁量で良いのではないか。
- 図書館：今現在の段階ではおっしゃるとおりです。今後についてはどうするかという事です。
- 利用者：施設があるのだから、有効活用して欲しいということです。
- 図書館：おっしゃるとおり、有効利用という視点で考えていきたいと思います。
- 図書館：この部屋は有料施設です。個人で使う場合は無料で使うという事で今後、検討させていただきます。

ます。

利用者：参考調査コーナーではパソコンの使用は認めていないという事を文章に書いてありますか。

図書館：それはしていません。パソコンを使用する時は、2 階談話コーナーをと申し上げています。参考調査コーナーでは、パソコンの使用は認めていません。

利用者：パソコンを使っていけない理由は何ですか？

図書館：人によって「うるさい」という事があるので、統一して1階ではご遠慮くださいということにしています。

利用者：これからは、メモをとると同じようにパソコンを使用する人も増えてくると思うので、今後はそういう要求も出てくると思います。音を出さないという事は絶対守らなければいけないと思いますが考えて欲しいです。

利用者：施設があるのだから、有効活用して欲しいということです。

図書館：先ほどの質問の2階踊り場の利用についてですが、各図書館からの予約資料の仕分け作業をする場所がないのであそこを使っています。

利用者：図書館を開館した頃は、そういう事態を考えていなかったのではなかったかという事です。

利用者：購入して欲しい新刊本をWebで要望することができるような仕組みにして欲しいです。

図書館に来て紙に書いて欲しいと言われました。他から買ってくれる可能性はあるのでしょうか。と聞いたら、検討はしますが、たぶんダメでしょうと言われました。

図書館：お受けするのは可能と思われます。インターネットを使ってできると思いますが、リクエストひとつひとつにお答えすることは難しいと思います。今は、本を提供することを中心に考えています。購入の参考にさせていただいています。予約（リクエスト）の部分は検討しなければならないのですが、利用者のご意見を聞くのは必要なことです。インターネットという手段を使って入れていただく事は可能だと思います。

図書館：技術的な部分もあるのでこの場ではお答えできませんが、検討させていただきたいと思います。

利用者：図書館を教育委員会から区民生活事業本部へ移す件についてですが、これによってどういうことがおこってくるのでしょうか。

図書館、公民館等を新基本構想によって地域コミュニティを強化しようということで、教育委員会から切り離し移せば、区民に近まるのではないかと検討され、平成22年4月から実施するという話です。その場合、検討の進め方として課題に応じて有識者、利用者等を含めた検討組織を設置するとあり、協働に進めていく事を基本にしている事から、区民生活事業本部に移ればどうなるかをつぶさに検討していく必要があります。当然最初から、図書館においては、利用者の意見を反映させるべきだと思います。全国の「図書館利用者友の会」があるところは、図書館活動が活発だということですが「友の会」が練馬区にはありません。皆さんがご意見をお持ちでいるのですから、今度の組織改革にも反映すべきだと思います。

利用者：組織の見直しが出てきた時こそ、図書館の理念、使命があり、話し合う場があってこそ活きてきます。バラバラではなく繋がってきます。今、真剣に利用者区民が考える場が必要であると考えます。これから時間をかけて検討する課題ではあると思いますが、何事も「・・・ありき」ではなく、始めのところから一緒に考えてイメージなり理念を構築していけるような方向を光が丘図書館長にぜひ、お願いしたいです。

図書館：ご意見は分かりました。今日は3館の図書館の運営についてのご意見をいただきましたが、時間も過ぎておりますので、組織の見直しについての利用者の意見を聞く機会は別の機会とさせていただきますと考えています。

利用者：4回続けてきたが、大きな話をする場がなく、残念に思っていました。どうしても「場」を作っていただく時期であると思います。

利用者：司会から、今日は3館の運営についての意見という事だが、3館の運営は基本的な問題が関わ

っています。狭い話ではなく、区長部局に移った時にどうなるのかを議論できないと困ります。光が丘図書館長に是非、別の場を作っていただき、そこで意見を出して教育委員会に館長からあげてもらおうとしたらどうでしょうか。

図書館：組織の事であるので、図書館ひとりで動くわけにはいきません。どういう進め方をするかわかりませんが、本日の皆さんの意見は図書館長としては受け止めました。図書館長としてそういう意見を言う場があれば、皆さんの意見を伝えて行きたいと思います。

組織のことは、図書館、議会、企画部での動きになると思います。皆さんのお気持ちは図書館長としては、受け止めます。

利用者：意見を言いっぱなしではなく、利用している私たちの力で、モラルの事とか、防災の事とか利用者ができることがあると思います。そういう事を話し合いたいです。行政側からいうより、利用者側が言った方が、柔らかく、うまくいく場合があると思います。今度の基本構想は「協働」を姿勢としています。大いに話し合ってそこから出発しましょう。1月に準備会を開こうという事は企画課に言っています。早急に図書館も企画課に話して、区民の側が発言できる体勢が必要です。

利用者が活発に動いているところは、利用も増えています。

図書館：区民の側の意見を担当課にいつて実施していきたいと思います。

利用者：団体向き説明会を開いたという事ですが、内容をかいつまんで伊藤館長から話していただけますか。

図書館：資料を持ってきていないのですが、記憶では2点だったと思います。ひとつは、「中央館を作って欲しい。」もうひとつは「指定管理、委託はしないで白紙にして欲しい。」

光が丘図書館だけで作っているものではないので、企画部が先導している中で、説明会で固まったところでは、光が丘が中心でやっているから、今のところ計画はないとお話ししました。

指定管理、委託は区の方針として運営しているところなので、白紙にする事はありません。

利用者：組織の話はなかなか大きな話で、社会教育施設のあり方の議論で、ある意味では、区の内部的議論だけでなく、利用者の方とか、外部の方を交えての議論の場等があると思いますが、図書館については、今のところそのような場がありません。企画部の話ではありますが、組織のあり方の話なので、時期、形は別として、図書館利用者にも組織面からの見直しの説明、意見を言える場を作ってもらえると良いのですが。

図書館：区民生活事業本部への移管については、教育委員会としてもこれから検討に入ります。年度内は有識者の意見を聞き、新年度にご利用の方々の意見を聞いて必要性あるものは応答していきます。

利用者：団体向けの説明会の要求を出しても良いですか。我々利用者の方から説明会を開いてほしいと要求しても良いでしょうか。

図書館：皆さんに説明する機会はあるのかという事のお答えとしては、やり方等はまだ決まっていません。これから決めていきます。どのような方をどういう形でお呼びするかも決まっていません。

利用者：会を開いてくれるように要望を出す事はできるのでしょうか。

図書館：要求を出すなどとは言えません。ご要望としてお受けいたします。

図書館：時間も過ぎておりますし、この後、公務も残っていますので、以上をもちまして本日の懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。